



1. 本学自慢のバドミントン専用体育館で練習に励むバドミントン部 2. 関東大学リーグ3部リーグ昇格を目指すバスケットボール部(男子)

今回より、本学の運動部を2回に分けて紹介いたします。今回は、バレーボール部、バドミントン部、バスケットボール部のご紹介です。

バレーボール部は男女とも2015年に創部。男子は'15年、女子は'17年に関東大学バレーボール連盟に加盟しました。特に女子バレーボール部においては、新規加盟から順調に勝ち進み、'18年度秋季関東大学女子5部リーグ戦では、相手に1セットも与えることなく全勝優勝し、4部リーグ昇格を果たし、来年度は3部リーグへの昇格を目指しています。

バドミントン部は、'12年の本学開校と同時に創部し、当初から関東大学バドミ

ントン連盟に加盟して、現在男女ともに関東大学バスケットボール連盟に加盟し活動しています。今年度は関東大学リーグ戦4部5部入れ替え戦を僅差で制し4部リーグ昇格を果たしました。

来年度は新入部員を加えて3部リーグ昇格を目指しているところです。

このように、各部がリーグ昇格を目指して日々、練習に励んでいます。

本学運動部への、みなさまのご声援、どうぞよろしくお願いいたします。



創部以来、活躍を続けている男女バレーボール部



本学の運動部を紹介します①

WELLNESS

日本ウェルネススポーツ大学
通信

きゃんぱす
Campus!



2012年に、旧利根中学校跡に開校した日本ウェルネススポーツ大学からの情報をお届けしています!



学校法人タイケン学園

日本ウェルネススポーツ大学

1号館 利根町布川 1377
2・3・4号館 利根町布川 1649
TEL 0297-68-6787 FAX 0297-68-6788

ガールスカウト茨城県第24回より児童用図書を寄贈されました!

昨年度に引き続き本年度も図鑑や児童用図書 61冊(約20万円)が寄贈されました。図書館では、調べ学習に利用させていただきます。ありがとうございました。

新着図書情報! 「児童書」(ガールスウトからの寄贈本)

「伝統工芸のきほん」1~5巻 理論社

「みんなのバリアフリー」

1~3巻 あかね書房

「好きなモノから見つけるお仕事」

1~4巻 学研

「はかってみよう長さ・重さ・時間」

1~3巻 汐文社



寄贈されたたくさんの本

映画会のお知らせ

「会議は踊る」(97分) (1931年ドイツ)

監督 エリック・シャレル 主演 リリアン・ハーヴェイ
舞台はウィーン。ロシア皇帝と手袋屋の娘との恋物語。

- 日時: 2月23日(土) 午後1時~
- 場所: 利根町図書館 2階多目的ホール
- 入場料: 無料



だ よ り



利根町図書館 ☎68-8868

開館時間/午前9時30分~午後5時

休館日/毎週月曜日、祝日、年末年始、

月末資料整理日、特別整理期間

HP / <http://tone-lib.jp>

3月 図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

は休館日

とねまち

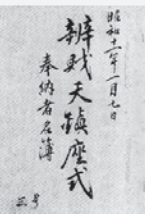
歴史

探

訪

ではなぜ布川神社へ?

代々受け継が



▲昭和十一年鎮座式名簿

は次のように記されています。

「そもそも当弁財天は安芸の国(今の広島県)厳島神社の分祀にして、もと戒善寺畔に奉祀せられたり。(中略)しかし、明治末年に各地の祠堂を村社に合祀することが決まり、当社も布川神社の境内に遷祀せらるるの余儀なきに至った。これは偏に氏子一同の本意ではない。(以上読み下し)」と、ここに記されているように、明治三十九年(一九〇六年)明治政府によって国民的精神的統合を目的に神社合祀政策が進められ、一村一社を原則とした整理が行われました。これにより民間信仰の石祀などは無格社として村社(村を代表する神社)へ集めるよう指導され、馬場弁財天も布川神社境内(石段途中の左側)へ強制的に移されました。

いつ、どのようにして現在の地へ?

再度、前掲の昭和十一年の鎮座式奉納者名簿の前書きに戻ってみます。
「そもそも弁財天は湖海沿澤にお住するもので今のように山の中では真に理に合わない為、一日も早く清浄の地へ御遷座申したく心を痛めてきた。そして三十年も経った今、氏子一同の合議により、年も改まった昭和十一年正月の佳き日に社の地を浄め、池を掃除し齋戒沐浴(心を浄め身を洗うこと)国家の隆昌と氏子の健康とが永く続くことを祈願し遷座式をおこなった。」

利根町地域おこし協力隊 活動レポート

利根町の宝みつけた!!



完成した「とねまちパズル」の試作品
ピースは、全部で24ピース

みなさん、こんにちは!

利根町地域おこし協力隊の諸です。

前々から欲しかった「利根町地域おこし協力隊」のロゴマークを作ろうと思ひ、そのデザインをあれこれ考えている時に、「町の形をモチーフにしてみてもいいかな」というアイデアをいただいたので、さっそく、利根町の形をした「とねまちパズル」というデザインを考えました。

パズルは、必要なピースを組み合わせて完成するもの。一つでも欠けていれば完成しません。

そしてピースは、多ければ多いほど難易度が高く、作っている最中に紛失してしまひ、探し回ること。

「コミュニティ(地域社会)も、必要なものが欠けていると、「地域」が未完成のままになってしまうので、みなで地域の課題を出し合ひて、その意見

第十九回

布川 馬場地区の弁財天物語 (その3)

こうして弁財天は、当時は周囲が田や池の為水辺だった現在の地に納まったのです。この鎮座式を行った昭和十一年頃は挙国一致体制で富国強兵へと突き進んでいた時代であり、その中で一村一社方針に反する動きを敢えて行った先輩氏子の方々の勇氣ある行動には頭が下がる思いです。

弁財天の現在

現在の祠堂は昭和五十五年に造り直し、また平成三年に石造りの鳥居を完成させました。そしてその翌年(平成四年)に来見寺門前の雑賀石材店より、小林一茶の「赤子から……」の句碑が寄贈されました。この揮毫は書家であり布川小・利根中などで教鞭を執られた戸沢成元氏(龍ヶ崎出身、平成二十八年没)によるものです。また、馬場地区の皆さんの熱心なご寄進により、平成三十年四月には舗装された立派な参道が完成しました。



▲現在の弁財天祠



▲一茶の句碑

在に至る弁財天で、これからも永く守り続けていきたいものです。
寄稿 利根町歴史探訪の会
白井 清司氏



いろんな方々にチャレンジしてもらいました。
感想は…「意外と難しい!!」だそうです(笑)

を必要な形に変えて改善していくところは、「なんだかパズルに似ている」と感じました。

そこで、実際にダンボールを使って「とねまちパズル」を試作してみました。ピースは全部で24ピース。決して多くはないですが、利根町の形もなんとなく頭に思い浮かべることができたので、簡単に作れるかと思いきや、普通のジグソーパズルのように四角ではないため、これが意外と難しいのです。

みなさんは、「利根町の形」をご存知ですか?

お知らせ

次号では、1月20日(日)に東京ビックサイトで行われた「JOIN移住・交流&地域おこしフェア」の模様などをレポートさせていただきます。お楽しみに!